

ニューアプローチ中級日本語 [基礎編] 改訂版

本文設問の解答例

注)【改】は改訂版で変更になった設問

第1課

(著作権所有 日本語研究社)

- (1) 「危険」です。[第二段落]
「食欲」です。[第二段落]
(2) 「涼しさ」です。[第三段落]
(3) 【改】はい。明るい色が軽く感じます。
白い 広く感じることなど。(聴解ミニテストより)

第2課

- (1) 「じゃんけん」で決めます。[第一段落]
(2) 「グー」は石を、「チョキ」ははさみを、「パー」は紙を表しています。[第二段落]
私の国も日本と同じです。
(私の国では「チョキ」が鳥のくちばしを表します。)
(3) マレーシアの「チョキ」はBです。[第三段落]
自由に考えてください。
・考え方(1)
力を比べれば象のほうがアリよりも強いが、アリのような小さなものでもたくさん集まれば大きな力になる。
・考え方(2)【絵本にあるような話】
普通に力を比べれば象のほうがアリよりも強いが、たとえば、アリが象の耳の中に入ったら、ぞうがくすぐったくて逃げるかもしれない。

第3課

- (1) 駐車場にエレベーターがなくて、不便だったからです。[第二段落始め]
(2) 前は1時間300円で、今は150円です。[第一段落、第二段落終わり]
(3) (駐車場を利用する人は) 少し不便でも、安いほうがいいと考えるからです。
[第三段落]
本文の最後の文章「どれくらい安ければ、不便でもかまわないと考えるか、それが問題です」から、「安ければ、不便でも利用する」という考え方と対比して考える。

第4課

- (1) 駅のホームと車内の放送をやめてもらいたいのです。[第一段落]
(駅のホームと車内の放送を少なくしてもらいたいのです。)
(2) 同じです。[第二段落]
(3) 【改】要らないと思っています。困っている人がいたら、周りの人が助けるからです。[第三段落]
【改】
・一つの考え方：
公共の場はいろいろな人が集まるのだから、案内のサービスをしなければならない。そのためには、案内のアナウンスも必要だ。何度もアナウンスするのは、親切なことだ。
・もう一つの考え方：
公共の場はいろいろな人が集まるのだから、案内のサービスをしなければならない。でも、「騒音」と感じるようなアナウンスはしないほうがいい。

第5課

- (1) 21世紀の終わりごろです。あと100年後です。[第一段落]
- (2) (1970年の) 科学技術や生活、社会、芸術のことがわかるような物が入っています。
[第二段落]
- (3) 6970年(約5,000年後)に大阪城公園でタイムカプセルが開けられた時に、それを見た人から感想を聞きたいと思っています。[第二段落始め + 第三段落終わり]
自由に想像してください。

第6課

- (1) 普通の道路と比べると運転が単調になるからです。[第一段落]
- (2) いいえ、家から目的地までではありません。高速道路の入口から出口までです。
[第三段落]
- (3) [第二段落] からのみ答えを出す場合
- ・(衝突しないように自動的に車の間隔をコントロールしたり、トイレがある場所にも連れて行ってくれるので) 運転手が何もしなくても、(高速道路を) 走ることができるようになります。
[第三段落] の内容と [第一段落] の内容と結びつけて答えを出す場合
 - ・(高速道路を走っている間は)(疲れたら) 運転手は寝ることができるようになります。
 - ・(運転手) は(運転中に) 友達と楽しく話すことができるようになります。
- 本文の第四段落を参考にして、「勇気がない」というのが何を意味しているのか考えて、自動運転を利用するかどうかを考えてみる。

第7課

- (1) ・普通の人にはできないことは、スポーツの世界で世界記録を破ることと2ミリ以下の小さい本を作ることです。[第二段落]
- ・普通の人にもできそうなことは、世界一長いホットドッグを作ることと世界一大きいピザを作ることです。[第三段落]
- (2) いいえ、みんなで協力して作ります。[第三段落]
- (3) 【改】いいえ、挑戦しようとは思っていません。
[第三段落 『だれがこの世界記録に挑戦してみようと思うだろうか』]
折れそうもない。(折れそうだが、実際は無理だ。)
どんなに大きな紙を用意しても、最後の一回(=25回目)で、富士山の高さくらいになるのだから、現実には折ることはできない。しかし、大きければ大きいほど折ることができる回数は多くなるはずだ。二倍、二倍と厚さ(高さ?)が増していくので、最後の数回が現実には無理な作業となる。

第8課

- (1) 友達のほうがよく当たります。[第二段落]
- (2) はずれた方が当たった人にごちそうすることになっていたからです。[第三段落]
(筆者が野球の予想ではずれたからです。)
- (3) 筆者の予想はいつもはずれるからです。「当たりそうもない店」に行けば、反対に当たるだろうと思ったからです。[第四段落]
自由に考えてください。

第9課

- (1) 「好奇心」と「目標」と「報酬」(の3つ)が挙げられています。[第二段落]
(2) 一つ目は、目標が高すぎて、途中であきらめてしまうからです。[第三段落]
二つ目は、物の報酬の刺激に慣れてしまうからです。[第四段落]
(三つ目は、しかられて、自分にはできないと思うからです。[第五段落])
(3) ほめる/ほめられることです。ほめられると、やる気が出るからです。[第二段落]
(ほめられると、「もっとできるはずだ」という自信につながるからです。)
【改】自由に考えてください。

第10課

- (1) ・「占い」について:[第二段落]
「日本人は占いが好きだ」という考えは同じです。[第二段落『確かに～』]
友人は「それは、日本人は何か目に見えない力に人生が左右されていると考えるからだ」と考えています。
筆者は「それは、ただ楽しんでいるだけだ」と考えています。
・「しょうがない」について:[第三段落]
「しょうがないという表現はあきらめの気持ちを表す」という考えは同じです。
[第三段落『確かに～』]
友人は「その表現を日本人は使いすぎる」と考えています。
筆者は「その表現を日本人は使いすぎる」とは考えていません。
(2) 変わりました。
(初めは「しょうがない」はそんなに使っていないと書いていたのですが、実はけっこう使っているのではないかと思うようになりました。)
無意識に「しょうがない」を使っていることに気がついたからです。
[第四段落『思わず～』]
(3) 良かったと思っています。
彼のおかげで自分の国の言葉について改めて考えることができたからです。
[第四段落]
東京や大阪のような大都市では、土地の値段が高いので、なかなかマイホームを持っていない。だから長い時間がかかって通勤するのはしょうがないと思っている。

第11課

- (1) 好きなものの中から一つ選ぶ場合です。[第二段落]
(2) 嫌いなものの中から一つ選ぶ場合です。[第三段落]
(3) 【改】(本当はどちらの宿題もいやですが、)本を読むのも嫌いなので、「日記」の宿題のほうが、「読書感想文」よりはましだと考える子です。[第三段落]
本文の最後の文章(「大人になってからもこんなやり方ですべてうまくいったらいいのだが。ときどきそう思うことがある」)を読んで考える。答えは決まっていない。ポイントは「うまくいったらいいのだが」が願望表現になっていること。そして、「ときどきそう思う」ということから、単にそう思うだけで、実際はそんなことはしていないだろうと考えることもできるし、あまり重大ではないことについては、子供の感覚でそうすることもあると考えることもできる。

第 1 2 課

- (1)【改】一層豊かになります。[第一段落最後]
- (2)【改】たくさんではありませんが、けっこう使われています / 少なくはありません。
[第二段落最初]
- (3) セネカは、人生について「重要なのはどんなに長いかということではなく、どんなに良いかということだ」と考えているからです。[第二段落]
人間は、お金をいくらか手に入れても、それで満足することがない。手に入れたら、もっと欲しくなる。

第 1 3 課

- (1) 子供のころは、パン屋さんになりたかったですが、実際はデザインの仕事をすることになりました。[第一段落 + 第二段落最初]
- (2) (そこに書かれていた) 自分の夢と現実がとても違っていたからです。
[第二段落 『それは本当に自分が書いたものかと思うほど現実と違うものだった』]
- (3) (子供のころは単純な理由であこがれているだけですが、) 大きくなるにしたがって、だんだん現実を見るようになるからです。[第二、三段落]
答えは決まっていない。最後の段落の内容から推測すると、子供のころの夢を大切にしておきたいという気持ちになって、「取っておく」ことにしたと考えることもできる。

第 1 4 課

- (1) 笑顔を作るのが苦手だったからです。[第一段落]
(無理に笑顔を作ろうとして、にやにやした顔になるのが嫌だったからです。)
- (2) 笑うことによって免疫力が高まることです / 高まってガンにかかりにくくなることです。[第二段落最後]
- (3) 実験で思いっきり笑った人に限った場合に、NK細胞が増えた人と減った人の割合が「8対2」でした。[第二段落]
笑うことによって免疫力が高まることを意味しています。[第二段落]
答えはありません。第三段落のまとめと第一段落の最後の文章(「これまでの考え方を変えなければいけないと思った」)から推測すると、これからは写真のときにはできるだけ笑顔を作ろうとするだろうと考えることができます。一方で、笑顔を作ろうと努力するけれども、小さいときから苦手だったのだから、そう簡単にはできないだろうと考えることもできます。

第 1 5 課

- (1) 富士山の五合目で書きました。[第一段落]
- (2) 日の出に間に合うように出発しなければならないからです / 頂上で日の出を見るためです。[第二段落]
- (3) 富士山には一回は登ったほうが良いという意味です。[第三段落]
(富士山の頂上から見る景色やご来光は本当にすばらしいです。だから、下から見ていだけで、登らない人はばかだという意味です。)
- (4)
1. 夏服 (半そでのシャツ) [第 1 段落 『暑い日が続いている』]
 2. 長そでのシャツが夏服 [第二段落 『クーラーがきいた部屋のように涼しい』]
 3. セーター、トレーナーなど [第二段落 『8合目、服を着たまま寝る』]
 4. ウールのセーター、ウインドブレーカーなど [第二段落 『朝は4～5度になる』]
「二度登るばか」は、富士登山の厳しさについて言い表したものの。
そんなに厳しい登山なのに2回だけでなく、3回も登ったので「大ばか」という意味だが、その裏には、登山のあとの達成感や充実感があって「大変なのにまた登りたくなる」自分のことをやや嘲笑めいて言う。

第16課

- (1) 6月の中旬から7月の中旬にかけて雨がちの天気が続く季節です。[第一段落]
- (2) 湿度が高くなるので、布団などにかびが生えないように注意します。
また、食べ物が腐りやすいので、食中毒にも注意します。[第三段落]
- (3) 梅雨がいつ明けるかが気になります。[第四段落]
梅雨が長いと売れる商品：除湿器、布団乾燥機、傘
梅雨が長いと売れ行きが伸びない商品：エアコン（クーラー）
梅雨が長いとお客が来ない：海水浴場（露店）

第17課

- (1) 170ページの図のように、（目の錯覚で）本当は線がないのに、線があるように見えることです。
[第二段落]
- (2) 170ページの絵のように、（目の錯覚で）本当は老婆の顔があるのに、（婦人の顔が見えるときには）それが見えないことです。[第二段落]
- (3)（本当はその少年も絵の一部なのですが、光の当て方によって）立体的に見えて、実際にそこに少年が立っているように見えるからです。[第三段落]
トリックアートの作品は壁に直接特殊なペンキを塗ってかかれています。室内を薄暗くして、光をあてることによって、立体的に見えるようになっています。だから、フラッシュを使って全体に強い光をあけると、見え方が変わるのです。

第18課

- (1) はい、初めて食べに行きました。
[第一段落 『ぜひ一度食べに行きたいと思っていた』]
- (2) 40分待って、やっと目の前に運ばれて来たものだからです。[第二段落]
- (3) いいえ、食べたいとは思っていないようです。
出前をしてもらったラーメンは、もおいしいだろうけど、お店に行って長い時間待たされて食べるラーメンほどおいしくないと思っているからです。[第三段落]
行列ができると、食べるまでかなり待たされるので、おいしいものをもっとおいしく感じるという意味。
行列ができるという評判を聞いただけで、その店のラーメンはおいしいのだという先入観があるので、おいしく感じるという意味。

第19課

- (1) 小学1年の息子の疑問にいい加減に答えたからです。[第一段落]
- (2) 答えようがない疑問だったからです。（第一段落最後 + 第二段落）
- (3) 子供の疑問に直接答えるのではなく、どうしてそんな疑問を持つのかを一緒に考えてあげたからです。[第三段落]
答えはありません。
第二段落と第三段落で、筆者はどちらの答え方にも感心したことがわかりますが、どちらのほうの答えにより強く感心したかを示す内容はあります。ただ、二人目のゲストの答え方に対しては「こういう答え方もあるのか」と感心しているので、意外性としてはこちらのほうが強かったのだろうと推測できます。また、最後の段落で「なぜ生きなければならないの？」のような疑問のことを取り上げていることを考えると、二人目のゲストの答え方により強く感心したと考えることができます。

第20課

(1) 音と光の合図で会話することです。[第二段落最初]

(2) 【改】自動車教習所ではなく、実際に街に出て走りながら身につけます。
[第一段落]

(3) どちらの場合にも、「誤解」が起こるし、「言い間違い」もあるし、「方言」もあります。[第三段落]

(上手に使えば、快適に運転(生活)ができます。[第四段落])
運転手同士のコミュニケーションがうまくいっていない場合を考えてみる。
[第四段落]

道の譲り合いがうまくいなくて、ある方向の車がスムーズに流れない。
「誤解」が起こって、気分が悪くなるので、快適なドライブができない。
本文で紹介された以外にも、音と光の合図があればそれについて考えてみる。

(著作権所有 日本語研究社)